

**製品名: プラスミノーゲンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86959**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:91 kDa; Observed MW:100 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Plasminogen
別名	Pg; A1649309
遺伝子ID	18815
SwissProt ID	P20918
免疫原	マウスプラスミノーゲンの組み換えタンパク質

**背景**

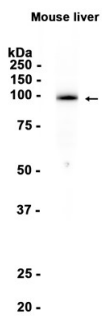
プラスミンは血栓のフィブリンを溶解し、胚発生、組織リモデリング、腫瘍浸潤、炎症など、様々なプロセスにおいてタンパク質分

解因子として作用する。排卵時にはグラーフ卵胞壁を脆弱化する。ウロキナーゼ型プラスミノゲン活性化因子、コラーゲナーゼ、そしてC1やC5といった複数の補体チモーゲンを活性化する。フィブロネクチンとラミニンの切断は細胞の剥離とアポトーシスを引き起こす。また、フィブリン、トロンボスポンジン、フォン・ヴィレブランド因子も切断する。組織リモデリングと腫瘍浸潤におけるプラスミンの役割は、CSPG4によって調節される可能性がある。細胞に結合する（類似性による）。

## 研究分野

-

## 画像データ



プラスミノゲンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肝臓組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。